

【主な出来事】

●キク内閣は2020-23年の政府行動計画を採択。23年までにGDP成長率は8.3%まで増加、平均月収は640ドルに達するとの見通しを示した。

●チョコイ外務・欧州統合相は、OSCE外相理事会の-marginでアウレスク・ルーマニア外相と会談。アウレスク外相からは対モルドバ支援について厳しい見解が示された。

1. 内政

▼フィラット元首相の仮釈放

・3日、不正銀行送金事件の首謀者の一人として収監されていたフィラット元首相(元自由民主党党首)が仮釈放となった。フィラット元首相は9年の実刑判決を受けたが、収監中に問題を起さなかったことなどが考慮されて4年1ヶ月で仮釈放が決まった。

▼世論調査結果

- ・5日、民間団体の Public Opinion Fund が実施した世論調査結果が発表された。
- ・政党支持率は、社会党42%、PAS26.3%、民主党6.1%、DA5.6%、我らの党2.6%。
- ・キク内閣の成立に賛成票を投じた社会党と民主党の対応について支持すると答えた人は30.4%、反対は30.1%、どちらでもないが32.3%。
- ・西側と緊密な関係を築くべきと答えた人は36%、ロシアと答えた人は34%、どちらともが30%。
- ・どちらかを選択する場合にEUへの加盟と答えた人は39.7%、EEUが36.3%、どちらも反対が12.6%。
- ・ルーマニアとの統合については、反対が56.7%、賛成が29.3%。
- ・NATO加盟は、反対が57%、賛成が26.9%。
- ・最も信用できる政治家としては、ドドン大統領26%、サンドゥ前首相23.9%、チェバン・キシニョフ市長4.5%、ナスターセDA党首2.8%。

議会

▼2020年国家予算法案審議

・1日、議会は、2020年国家予算法案の第一読会を了した。歳入は441.3億レイ(25.22億ドル、対前年比8.6%増)、歳出515.5億レイ(29.46億ドル、対前年比11.2%増)、財政赤字74.1億レイ(4.23億ドル)。

▼ガイチュク国防相への不信任決議案否決

・4日、議会常設委員会はPASによって提出されたガイチュク国防相に対する不信任決議案を否決した。PASはガイチュク国防相が過去にウクライナの分離主義者を支持していた事実があるとして不信任決議案を提出していた。

▼ナガチェブスキ法務相への不信任決議案

・6日、PASは、ナガチェブスキ司法相の職権乱用と司法改革の冒涇を批判し、同司法相に対する不信任決議案を

提案した。

2. 外政

▼サンドゥ元首相のルーマニア訪問

・3日、サンドゥ前首相はルーマニアを訪問し、オルバン同国首相と会談した。サンドゥ前首相は、ヤシ・キシニョフ間のガスパイプライン建設を完了する必要性について言及しつつ、モルドバの地方自治体に対する協力を要請した。また、ルーマニアやウクライナ、EUに対して攻撃的なモルドバの現政権によって進められる「バランスを欠いた」外交について懸念を示した。

▼チョコイ外務・欧州統合相のOSCE外相理事会出席

・5日～6日、チョコイ外務・欧州統合相は、OSCE外相理事会に参加するためブラチスラバを訪問した。会合において、チョコイ外相は、トランスニストリアに関するモルドバの立場を説明し、平和的解決は信頼醸成措置の積み重ねによって実現しうる旨述べるとともに、イスタンブール合意に基づいた外国軍の撤退の必要性について強調した。

・チョコイ外相は、会合の-marginにおいて、ラブロフ露外相と会談し、政治対話の強化や様々な分野での協力拡大について協議した。

・アウレスク・ルーマニア外相と会談したチョコイ外相は、モルドバとしては法の支配、司法の強化、汚職対策を含めEUとの連合協定の実施を進めるに当たってのルーマニアの支持を求めたいとした。これに対しアウレスク外相は、社会党政権への交代は司法改革、汚職対策、EU統合などの面で問題が生じている旨指摘しつつ、外国パートナーからの支援は改革やEUとの連合協定、IMFとの合意等の実施に向けた社会党政権の真のコミットメントに応じて再評価されるべきである旨述べた。更に、財政支援を含むルーマニアの支援は過去に合意した指標に基づいて継続することは困難であり、新政府の行動に基づいて改めてその方向性が設定されることとなる旨述べた。

・また、チョコイ外相は、チャヴシュオール・トルコ外相、リンケービッチ・ラトビア外相、チャプトヴィチ・ポーランド外相、ムナツァカニャン・アルメニア外相、ブロック・オランダ外相、ザルカリアー・ジョージア外相、ライチャーク・スロバキア外相らとそれぞれ会談を行った。

▼米国務次官補代理のモルドバ訪問

・6日、キク首相は、モルドバを訪問中のジョージ・ケント米

国務次官補代理(欧州、ユーラシア問題担当)と会談した。キク首相は、米国との関係の重要性を強調しつつ、米国からの投資、司法改革、経済問題等について話し合った。ケント国務次官補代理は、グレチャス議長とも会談した。

▼グレチャス議会議長のハンガリー訪問

・12日、グレチャス議会議長はハンガリーを公式訪問し、クヴェール国会議長と二国間の議会間交流について意見交換を行った。

▼キク首相のGUAM首脳会合出席

・12日、キク首相は、GUAM首脳会合に出席するためキエフを訪問した。会合では、自由貿易特区の整備や運輸網の発展について合意した。

・会合のマージンでホンチャルク・ウクライナ首相と会談したキク首相は、エネルギー問題、国境の共同管理、ウクライナの反ダンピング措置などについて話し合った。

3. 経済

▼モルドバ最大のITパーク誕生

・5日、モルドバ最大のITパーク「デジタルパーク」がキシニョフに誕生した。同パークには、近代的なオフィスとワークスペース1000人分、会議室、レストラン、イベントスペースなどが完備。モルドバの通信大手スターネット社は同ITパークに2億レイ(11.4百万ドル)以上を投資した。

▼11月のインフレ率7.1%

・10日、国家統計局は、11月のインフレ率が7.1%と発表。

▼公共旅客輸送業者のスト

・11日、公共旅客輸送業者(バス及びミニバス)は、首都及びその他の地域でストライキを実施した。公共旅客輸送業者は、政府に対し、料金を1kmあたり現行48バニ(2.7セント)から72バニ(4.1セント)に引き上げることを求めた。

▼オーストリア企業が8.5百万ユーロの新規投資計画

・11日、北部都市バルツィの経済特区で車両ケーブルやエレベーターなどを生産するオーストリア企業Gebauer&Griller(G&G)社代表がキク首相と会談し、2020年に8.5百万ユーロを新規投資し、600人の雇用を創出する計画を表明した。同社は2012年以降、既にモルドバで40百万ドルの投資を行っており、700人の雇用を創出している。

▼国立銀行、基準金利を5.5%に引き下げ

・11日、モルドバ国立銀行は、インフレ率を目標インフレ制限5%±1.5%内に維持するため、基準金利を現行7.5%から5.5%に引き下げることを決定した。

▼2020-2023年政府行動計画

・11日、政府は「2020-2023年政府行動計画」を採択した。キク首相は、2023年までにGDP成長率は8.3%に増加するとした。歳出は56.7%増を見込んでいる(教育費は63.3%増、医療費は61.5%増)。平均給与は2023年までに52.7%増の11,200レイ(640ドル)にするとした。

・外国からの金融支援については、今後4年間で240億レイを見込んでいるとした。内訳は、世銀28.3%、EBRD22.6%、EIB20.2%、ロシア13.9%。また、政府は5億ユーロのユーロボンドの発行を予定している。

▼12月初め時点の外貨準備高

・13日、国立銀行は、12月初め時点の外貨準備高が30.64億ドルに達したと発表した。この額は、2019年初頭より69百万ドル増であり、これまでの最高額となる。

経済協力

▼米、12百万ドルの技術協力

・5日、ブシュクツァ財務相は、米国が12百万ドルの技術協力を実施すると述べた。より効率的な民主ガバナンス、貿易・投資促進の分野での技術協力に充てられる。

▼EU、文化施設の改修に2.5百万ユーロ

・6日、EUが首都のサーカス劇場とティギナ要塞の改修のために2.5百万ユーロの支援を行うことが明らかとなった。

▼EBRDの緊急備蓄用天然ガス購入支援

・11日、政府は、EBRDとの間で緊急備蓄用天然ガス購入のため50百万ドルの融資に関する協定に署名した。これは、ウクライナ領のガスの通過に関する合意が得られない場合、2020年1月以降の天然ガスの確保を目的とするもの。

4. 各種統計

▼モルドバの障害者率7%

・3日、国家統計局は、2018年に国民の7%が様々な形態の障害を持っていると発表した(17.6万人、うち子ども1万人)。

▼2019年第3四半期の労働状況

・4日、国家統計局は、2019年第3四半期の労働人口は94.7万人で、うち雇用は90.9万人と発表した。雇用の内訳は、サービス業55.1%、農業22.5%、工業13.7%、建設業8.7%。73%が民間雇用、27%は公共部門雇用。失業者は3.7万人で、失業率4%。

▼IT関連企業の月収は平均月収の約4倍

・8日、モルドバITパークのレポートによれば、2019年第3四半期に、IT関連企業の従業員の平均月収は29,133レイ(1,664.7ドル、前年同期比25.22%増)に達し、モルドバ人全体の平均月収の4倍に相当する。また、従業員数は対前年同期比2,429人増(37.5%増)。

5. 対日関係

・▼草の根・人間の安全保障無償資金協力引き渡し式の開催ーガガウス自治区コンガズ村小中高等学校暖房設備改修計画

・5日、草の根・人間の安全保障無償資金協力「ガガウス自治区コンガズ村小中高等学校暖房設備改修計画」の引き渡し式が行われた。今回の協力では、老朽化した暖房設備の改修のため、総額73,478ドルの支援が行われた。

(7)